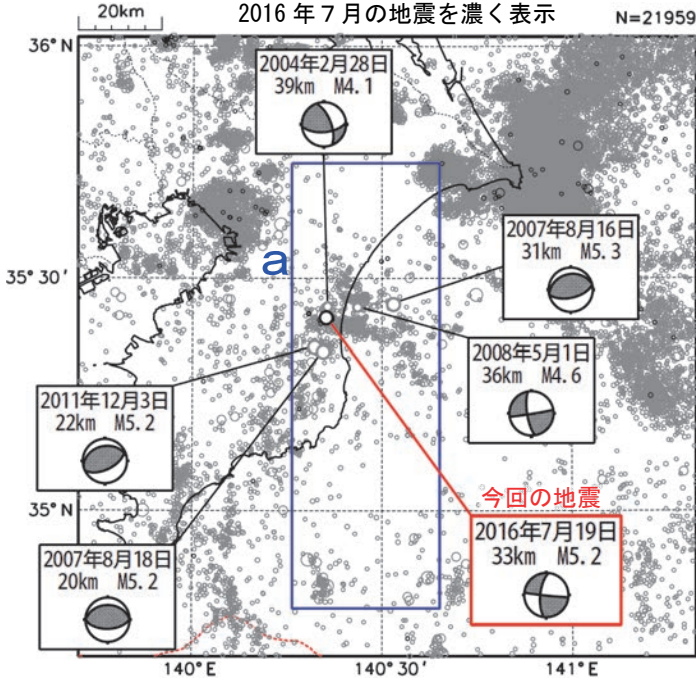


7 月 19 日 千葉県北東部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2016 年 7 月 31 日、
深さ 0～60km、 $M \geq 2.0$)
2016 年 7 月の地震を濃く表示

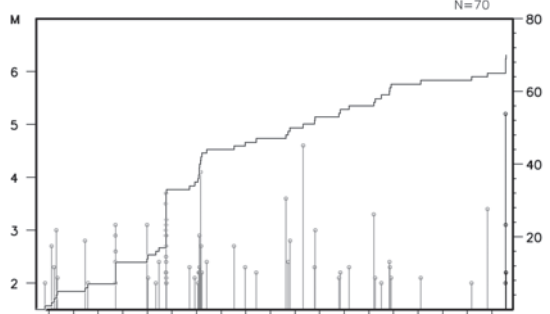


情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

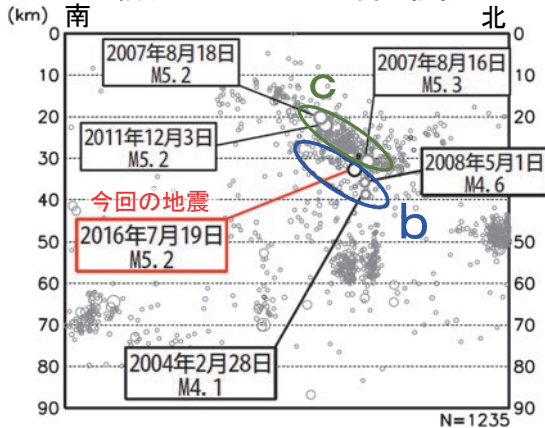
2016 年 7 月 19 日 12 時 57 分に千葉県北東部の深さ 33km で M5.2 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構が北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震は初めてであった。なお、今回の地震の震源より 10km 程度浅いフィリピン海プレートと陸のプレートの境界（領域 c）では、ゆっくりすべりに伴って発生したものと考えられる地震活動がみられる。

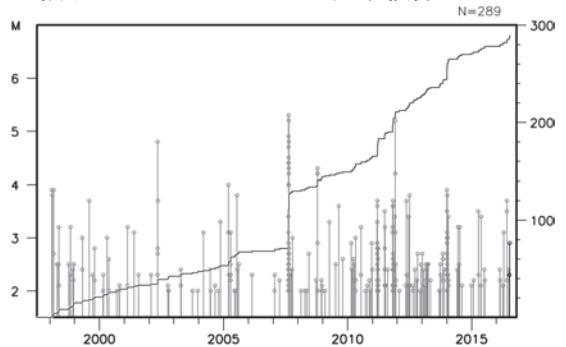
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 a 内の断面図 (南北投影)

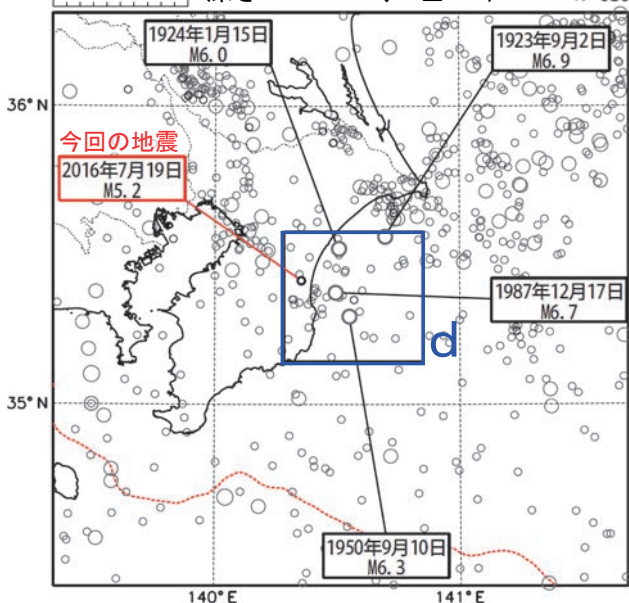


領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 7 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)



1923 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 d）では、M6.0 以上の地震が 4 回発生しており、そのうち、1987 年 12 月 17 日に深さ 67km で発生した M6.7 の地震（最大震度 5）では、死者 2 人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家半壊 102 棟、住家一部破損 72,580 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 d 内の M-T 図

